

# 資材置場建設 住民不安解消へ市の対応は

真野 和久議員

状況を注視し事業者に対処する  
産業建設部長



▲資材置場予定地(町方町大山田)

**問** 佐織地区新開地域の資材置場建設について、住民に対して説明会があった。説明会では、道路が狭くてもよいという心配や、トラックをめぐる交通安全の問題、また粉じんなど様々な意見や不安の声が出されたと聞く。事業者は対応を約束しているようだが、現場近くの住民は、約束がしっかりと守られるか、また新たな問題が発生するのではないかという不安の声

が出ています。市も説明会に立ち会っており、しっかりとした対応を求める。

**答** 建設の条件や規制は、

水田を資材置場に變更するに当たり、事業者には農地法上の許可や周知条例に基づく関係住民への意見聴取結果についての報告が必要だ。

**問** 住民から寄せられた意見や不安の解消のために、市の対応は、

心配する声が多かった。

たトラック通行による道路舗装の破損については、

造成工事前後の道路状況を市土木課、地元代表、事業者側の関係者が立ち会い、結果を踏まえて対応する。

これ以外にも状況を注視し、住民から相談があった場合に事業者に対し、適切に対応する。

## 学校適正化方針 前提で懇談するな

**問** 小・中学校規模適正化についての住民との懇談の状況について、今年度は何回行ったのか、またその内容は、

現在までに1度行った。内容は、適正化に反対の立場からの意見や、地域の考えに対する教育委員会の把握状況、学校施設の老朽化対策の状況などだ。

**問** 6月の代表質問で、

教育長は地域のいろんな意見を聞きたいと答弁した。市長は、施政方針に対する質問の中で、地域の方々がどういった形の学校を望んでいるのかしっかりと教育委員会を把握して欲しいと答弁した。

地域住民からしっかりと意見を聞くためには、今の教育委員会の方針を前提としたやり方では難しいのではないかと。住民に理解を今後求めていきたい。